被害の
跡地対策

シカ生息地の松くい虫被害跡地対策

研究の背景・目的

松くい虫被害や野生鳥獣による森林被害は深刻な状況が続いていますが、被害地では森林の復旧が進められています。一方、急傾斜地など土砂流出の危険がある区域では緊急的な対策も不可欠であるため、治山施設が施工されています。

ところが、近年は治山事業も緊急性や費用対効果の検証が強く求められています。このため、松くい虫や野生鳥獣が森林の植生、土壌などに与える影響を的確に把握する必要があります。

研究方法

松くい被害跡地やシカ生息地である弥山山地において、植生や土砂流出量を調査します。

①調 査 区：20m×20mの区画を20区画設置
②調査項目：樹木の直径、樹高、本数など
植生の違いによる土砂の流出量

シカ生息地の松くい虫被害跡地の状況

林内の植生調査

研究の成果

松くい虫被害跡地やシカ生息地における自然力を活かした森林の再生やシカ食害に強い樹種を明らかにできます。また、 治山施設導入の判断基準や総合的なシカ管理計画の策定を行うことができます。

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

所属グループ　森林保護育成グループ
担当研究者　林晋平・山中啓介

〒690-3405　島根県飯石郡飯南町上来島1207

問い合わせ先　0854－76－3822

E－mail　chusankan@pref.shimane.lg.jp

試験研究課題名：病虫獣害に対応した森林の多面的機能維持に関する研究

被害の
跡地対策

シカ生息地の松くい虫被害跡地対策

研究の背景・目的

松くい虫被害や野生鳥獣による森林被害は深刻な状況が続いていますが、被害地では森林の復旧が進められています。一方、急傾斜地など土砂流出の危険がある区域では緊急的な対策も不可欠であるため、治山施設が施工されています。

ところが、近年は治山事業も緊急性や費用対効果の検証が強く求められています。このため、松くい虫や野生鳥獣が森林の植生、土壌などに与える影響を的確に把握する必要があります。

研究方法

松くい被害跡地やシカ生息地である弥山山地において、植生や土砂流出量を調査します。

①調 査 区：20m×20mの区画を20区画設置
②調査項目：樹木の直径、樹高、本数など
植生の違いによる土砂の流出量

シカ生息地の松くい虫被害跡地の状況

林内の植生調査

研究の成果

松くい虫被害跡地やシカ生息地における自然力を活かした森林の再生やシカ食害に強い樹種を明らかにできます。また、 治山施設導入の判断基準や総合的なシカ管理計画の策定を行うことができます。

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

所属グループ　森林保護育成グループ
担当研究者　林晋平・山中啓介

〒690-3405　島根県飯石郡飯南町上来島1207

問い合わせ先　0854－76－3822

E－mail　chusankan@pref.shimane.lg.jp

試験研究課題名：病虫獣害に対応した森林の多面的機能維持に関する研究